

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

車両運搬具、什器備品 . . . . . 定率法によっている。  
ソフトウェア . . . . . 定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金 . . . . . 期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	4,000,000	0	0	4,000,000
小計	4,000,000	0	0	4,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	8,129,784	511,139	0	8,640,923
小計	8,129,784	511,139	0	8,640,923
合計	12,129,784	511,139	0	12,640,923

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	4,000,000	(4,000,000)		
小計	4,000,000	(4,000,000)	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	8,640,923			(8,640,923)
小計	8,640,923	0	0	(8,640,923)
合計	12,640,923	(4,000,000)	0	(8,640,923)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
車両運搬具	1,949,330	1,949,328	2
什器備品	4,068,190	3,701,041	367,149
ソフトウェア	529,200	432,180	97,020
合計	6,546,720	6,082,549	464,171

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
地方公共団体補助金						
米子市公の施設の管理運営安定事業費補助金	米子市	0	13,074,461	13,074,461	0	—
美術館連携促進事業補助金	鳥取県	0	500,000	500,000	0	—
地方公共団体助成金						
両立支援等助成金	鳥取労働局	0	207,489	207,489	0	—
民間助成金						
ごうぎん文化振興財団助成事業助成金(公会堂)	公益財団法人ごうぎん鳥取文化振興財団	0	300,000	300,000	0	—
ごうぎん文化振興財団助成事業助成金(美術館)	公益財団法人ごうぎん鳥取文化振興財団	0	200,000	200,000	0	—
中小企業大学校研修費助成金	米子商工会議所	0	30,000	30,000	0	—
合 計		0	14,311,950	14,311,950	0	0

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
該当事項なし。